

平成22年度 全国学力・学習状況調査

# 宮城県の調査結果報告

## 目 次

I	平成22年度全国学力・学習状況調査の概要	P1
1	調査の目的	
2	調査の対象学年	
3	調査の内容	
4	実施日	
5	調査を実施した公立学校数及び児童生徒数	
6	教科に関する調査結果の全体の概要	
7	今後の対応	
II	各教科の調査の結果及び指導改善のポイント	P3
1	小学校（国語） 主として「知識」に関するA問題	
2	小学校（国語） 主として「活用」に関するB問題	
3	小学校（算数） 主として「知識」に関するA問題	
4	小学校（算数） 主として「活用」に関するB問題	
5	中学校（国語） 主として「知識」に関するA問題	
6	中学校（国語） 主として「活用」に関するB問題	
7	中学校（数学） 主として「知識」に関するA問題	
8	中学校（数学） 主として「活用」に関するB問題	
III	類似問題の経年比較	P19
IV	児童生徒質問紙調査結果	P21
V	学校質問紙調査結果	P23

# I 全国学力・学習状況調査の概要

## 1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

## 2 調査の対象学年

抽出された学校の小学校第6学年及び中学校第3学年

## 3 調査の内容

### (1) 教科に関する調査

主として「知識」に関する問題 (国語A, 算数・数学A)	① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ② 実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能
主として「活用」に関する問題 (国語B, 算数・数学B)	① 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力にかかわる内容 ② 様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力にかかわる内容

### (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査 (児童生徒質問紙調査)	小・中学校とも 77問	学習意欲, 学習方法, 学習環境, 生活の諸側面等に関する調査
学校に対する調査 (学校質問紙調査)	小学校: 93問 中学校: 92問	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

## 4 実施日 平成22年4月20日(火)

## 5 調査を実施した公立学校数及び児童生徒数(仙台市を含む)

	全校数	抽出校数	抽出率	調査児童生徒数
公立小学校	443校	144校	32.5%	7,100名
公立中学校	218校	118校	54.1%	11,265名

## 6 教科に関する調査結果の全体の概要

- (1) 21年度と比べ、全国の平均正答率が小学校の国語A, Bでは高く、小学校の算数B, 中学校の国語B, 数学Bでは低くなっており、本県も同様の傾向となっている。
- (2) 小学生の結果について
  - 「知識」に関するA問題について  
国語の平均正答率は83.4%で、全国平均を0.1ポイント上回っている。  
算数の平均正答率は73.8%で、全国平均を0.4ポイント下回っている。  
国語は全国平均を上回り、算数は全国平均を下回る結果となっている。
  - 「活用」に関するB問題について  
国語の平均正答率は77.7%で、全国平均を0.1ポイント下回っている。  
算数の平均正答率は47.8%で、全国平均を1.5ポイント下回っている。  
国語・算数ともに全国平均を下回る結果となっている。

(3) 中学生の結果について

- 「知識」に関するA問題について  
 国語の平均正答率は76.2%で、全国平均を1.1ポイント上回っている。  
 数学の平均正答率は64.4%で、全国平均を0.2ポイント下回っている。  
国語は全国平均を上回り、数学は全国平均を下回る結果となっている。
- 「活用」に関するB問題について  
 国語の平均正答率は66.7%で、全国平均を1.4ポイント上回っている。  
 数学の平均正答率は44.0%で、全国平均を0.7ポイント上回っている。  
国語、数学ともに全国平均を上回る結果となっている。

宮城県と全国の平均正答率一覧表

			「知識」に関するA問題				「活用」に関するB問題			
			問題数	全国平均正答率	宮城県平均正答率	全国平均との比較	問題数	全国平均正答率	宮城県平均正答率	全国平均との比較
小学校	国語	H22	15	83.3 83.2-83.5	83.4 82.7-84.0	+0.1	10	77.8 77.7-78.0	77.7 76.9-78.5	-0.1
		H21	18	69.9	67.4	-2.5	10	50.5	49.8	-0.7
		H20	18	65.4	64.2	-1.2	12	50.5	49.2	-1.3
		H19	18	81.7	80.6	-1.1	10	62.0	61.0	-1.0
	算数	H22	19	74.2 74.0-74.4	73.8 72.9-74.7	-0.4	12	49.3 49.1-49.5	47.8 46.8-48.7	-1.5
		H21	18	78.7	77.5	-1.2	14	54.8	54.0	-0.8
		H20	19	72.2	71.3	-0.9	13	51.6	50.4	-1.2
		H19	19	82.1	81.1	-1.0	14	63.6	61.4	-2.2
中学校	国語	H22	35	75.1 75.0-75.2	76.2 75.6-76.7	+1.1	10	65.3 65.1-65.5	66.7 66.0-67.4	+1.4
		H21	33	77.0	78.1	+1.1	11	74.5	76.4	+1.9
		H20	34	73.6	73.8	+0.2	10	60.8	61.8	+1.0
		H19	37	81.6	80.8	-0.8	10	72.0	71.0	-1.0
	数学	H22	36	64.6 64.4-64.8	64.4 63.4-65.4	-0.2	14	43.3 43.1-43.5	44.0 42.9-45.1	+0.7
		H21	33	62.7	62.1	-0.6	15	56.9	57.7	+0.8
		H20	36	63.1	61.4	-1.7	15	49.2	49.1	-0.1
		H19	36	71.9	70.3	-1.6	17	60.6	59.4	-1.2

○ 平成22年度の値は、上段は抽出校の平均正答率、下段は抽出校の平均正答率をもとに、悉皆調査を実施した場合の県の平均正答率を想定した値の範囲（95%信頼区間 文部科学省の説明による）。

7 今後の対応

- (1) 各方面への周知と各学校の授業改善等の推進
  - 調査結果については、詳細に分析し、学力向上に向けた指導改善の方向性やポイントについて、各市町村教育委員会及び各学校に示していく。
  - 今後は、検証改善委員会等において、調査結果をさらに詳細に分析し、学力向上に向けた指導改善の方向性について早期にまとめ、各市町村教育委員会及び各学校に配布し、積極的に活用するよう支援していく。
  - 一昨年度から実施している学力向上サポートプログラム事業を継続し、小・中学校学力向上チームを各小・中学校に派遣し、今後も支援を進めていく。
- (2) 学力向上関係事業の継続実施
  - 調査結果を踏まえ、県教育委員会・市町村教育委員会教育懇話会や市町村教育委員会訪問等を実施するなど、情報交換や要望等についての話し合いを通し、連携を深めながら、教員の教科指導力の向上、児童生徒の学習習慣の形成、教育環境基盤の充実に努め、宮城県の最重要課題である児童生徒の学力向上に取り組んでいく。

## Ⅱ 各教科の調査の結果及び指導改善のポイント

### 1 小学校国語A問題

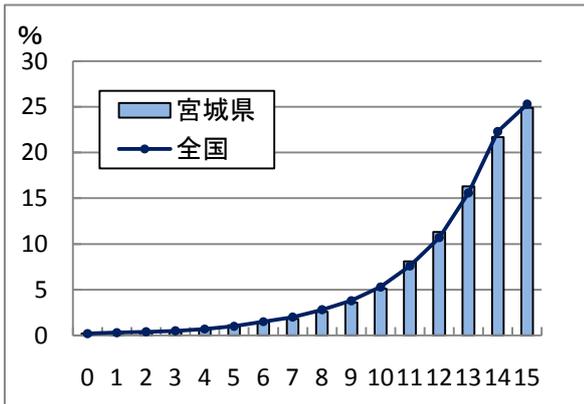
#### (1) 結果の概要

- 平均正答率は83.4%であり、全国平均を0.1ポイント上回り、改善が見られる。
- 文と文のつながりを理解し、文の論理を考えて書くことに課題がある。

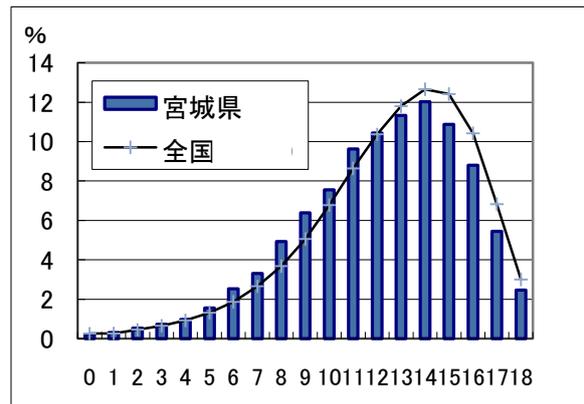
#### (2) 正答数分布状況

- 正答数の分布は全国とほぼ同様の傾向が見られる。
- 今年度は、80%(12問)以上正答した児童の割合が全国とほぼ同じ状況が見られ、全国とのかい離はなくなってきている。

[平成22年度正答数度数分布グラフ]



[平成21年度正答数度数分布グラフ]



#### (3) 領域別の平均正答率

- 「書くこと」を除く領域で、全国との差が改善された。特に「言語事項」の平均正答率は86.0%であり、全国を0.2ポイント上回っている。「書くこと」については、66.0%で全国平均を1.7ポイント下回り、全国平均とのかい離は1.2ポイント広がった。

領 域	話すこと・聞くこと				書くこと				読むこと				言語事項				合 計			
	H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H19
県平均正答率(%)	82.7	65.2	76.4	54.5	66.0	84.9	50.7	83.3	73.6	67.2	44.1	67.0	86.0	60.9	64.0	86.0	83.4	67.4	64.2	80.6
全国平均正答率(%)	83.2	68.0	76.1	56.6	67.7	85.4	53.3	85.3	74.1	68.7	44.5	67.3	85.8	64.2	65.2	86.8	83.3	69.9	65.4	81.7
全国との比較	-0.5	-2.8	0.3	-2.1	-1.7	-0.5	-2.6	-2.0	-0.5	-1.5	-0.4	-0.3	0.2	-3.3	-1.2	-0.8	0.1	-2.5	-1.2	-1.1

#### (4) 設問別調査結果

- 全国とのかい離が大きい設問等(◇:かい離がプラス, ◆:かい離がマイナス, [ ]内の記号は設問番号)

話すこと・聞くこと	◆ 見学したことの説明の工夫として適切なものを選択する問題の正答率は82.7%で、全国を0.5ポイント下回った。〔6〕
書くこと	◆ メモを基にして、児童会だよりの中に入る適切な内容を書く問題の正答率は57.7%で、全国を2.6ポイント下回った。〔4〕
読むこと	◇ 説明的な文章の中に入る適切な言葉を選択する問題の正答率は83.6%で、全国を0.3ポイント上回った。〔2〕 ◆ 物語の登場人物の関係をとらえて書く問題の正答率は63.6%で、全国を1.4ポイント下回った。〔3〕
言語事項	◇ 「漢字を読む」の一部、「漢字を書く」「国語辞典を利用して、複数の言葉の意味の中から適切な物を選択する」「共通語と方言の使われ方として適切な物をそれぞれ選択する」「語句の構成や変化を理解する」の問題等は、全国平均を上回り、特に「技術」という漢字を書く問題の正答率は76.8%で、全国平均を2.1ポイント上回った。〔1ー(2), 1二(1), 1二(2), 1二(3), 7, 8, 9ア, 9イ〕

設問番号	設問の概要	領域			問題形式			宮城県		全国		正答率の かい離	無解答率の かい離
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	選択式	短答式	記述式	正答率%	無解答率%	正答率%		
1ー(1)	漢字を読む(新しいクラスに慣れる)			○		○		95.6	1.0	96.2	1.0	-0.6	0.0
1ー(2)	漢字を読む(本の目次を見る)			○		○		96.0	1.3	96.0	1.2	0.0	0.1
1ー(3)	漢字を読む(いつも清潔なハンカチを持つ)			○		○		96.3	1.2	96.5	1.2	-0.2	0.0
1二(1)	漢字を書く(ひさしぶりにおじさんに会う)			○		○		81.9	11.1	80.1	11.5	1.8	-0.4
1二(2)	漢字を書く(ぎじゅつが進歩する)			○		○		76.8	5.0	74.7	5.8	2.1	-0.8
1二(3)	漢字を書く(星の位置がへんかする)			○		○		90.5	3.0	90.3	3.4	0.2	-0.4
2	説明的な文章の中に入る適切な言葉を選択する			○		○		83.6	0.4	83.3	0.5	0.3	-0.1
3	物語の登場人物の関係をとらえて書く			○		○		63.6	1.6	65.0	1.8	-1.4	-0.2
4	メモを基にして、児童会だよりの中に入る適切な内容を書く		○	○		○		57.7	1.9	60.3	2.0	-2.6	-0.1
5	意見文に書く内容をまとめた4枚のカードを構成した順番に並べ替える		○			○		74.2	0.7	75.0	0.8	-0.8	-0.1
6	見学したことの説明の工夫として適切なものを選択する	○				○		82.7	0.7	83.2	1.0	-0.5	-0.3
7	国語辞典を利用して、複数の言葉の意味の中から適切なものを選択する			○		○		81.7	1.0	81.4	1.3	0.3	-0.3
8	共通語と方言の使われ方として適切なものをそれぞれ選択する			○		○		81.9	2.0	81.0	2.3	0.9	-0.3
9ア	二つの言葉を組み合わせ、一つの言葉にして書く			○		○		95.7	2.4	95.3	2.7	0.4	-0.3
9イ	一つの言葉を二つの言葉に分けて書く			○		○		91.9	2.8	91.6	3.0	0.3	-0.2

## (5) 指導改善のポイント

- 話の中心や話し手の意図をとらえながら聞き、話し手と聞き手の両者にとって大事なことを押さえ、自分の意見と比べるなどした上で、様々な観点に合わせながら、聞きたいことを明確にして質問することができるよう指導する。
- 記述や推敲の段階において、文と文との接続関係に着目し、必要に応じて複数の文を一文に書き換えたり、一文が長くなり、意味が伝わりにくい重文や複文については、一文一文に分けて簡潔に書いたりできるよう指導する。また、各教科等の学習においても意図的に指導する。
- 問題となる事実や意見、根拠、結論などの書く事柄を文章の構成や記述に役立つよう収集し整理すること、取材の段階から文章全体の構成を意識しながら適切な取材方法であるかなどを検討することができるよう指導する。
- 行動や会話、情景などについての叙述に着目し、それぞれの人物像や役割をとらえ、人物相互の関係を整理しながら読むことができるよう指導する。
- 目的に応じて様々な文学的な文章を授業の中で計画的に取り上げ、優れた叙述などについて自分の考えをまとめることができるよう指導する。
- 学年の進行に合わせて語彙の拡充を図るとともに、獲得した語彙を、漢字を使って表現できるようにするため、特に同音異義や同訓異義の漢字に気を付けて、漢字がもつ意味を考えながら正しく使う習慣が身に付くよう指導する。

## 2 小学校国語B問題

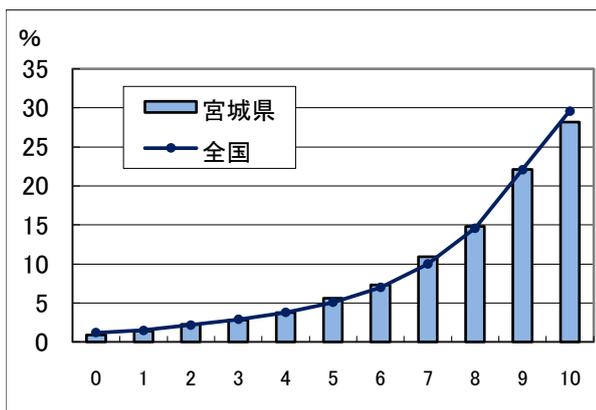
### (1) 結果の概要

- 平均正答率は77.7%であり、全国平均を0.1ポイント下回っているものの、全国平均とのかい離は21年度よりも0.6ポイント小さくなっており、改善が見られる。
- 「話すこと・聞くこと」の領域では、目的や意図に応じて、聞き手を引きつけるように話すこと、「読むこと」「言語事項」の領域では、登場人物の行動や場面の移り変わりに注意しながら、あらすじを書くことに課題が見られる。

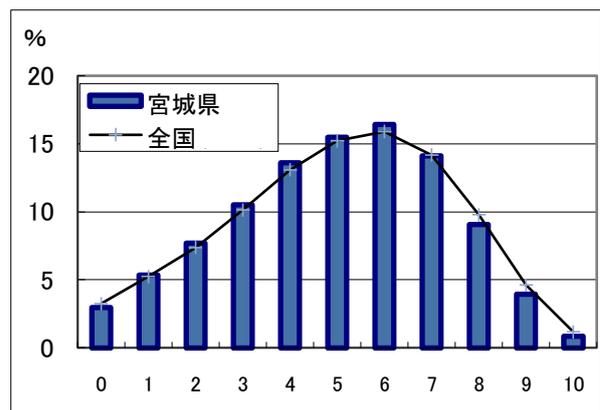
### (2) 正答数分布状況

- 正答数の分布は全国とほぼ同様の傾向が見られる。
- 全国とのかい離は、ほとんど見られないが、全問正答した児童の割合が全国と比べて低い状況が見られる。

[平成22年度正答数度数分布グラフ]



[平成21年度正答数度数分布グラフ]



### (3) 領域別の平均正答率

- 「話すこと・聞くこと」を除く領域で改善が見られ、全国平均との差が縮まっている。特に、「書くこと」の平均正答率は92.2%であり、全国平均を0.6ポイント上回っている。ただし、「話すこと・聞くこと」については、75.0%であり、全国とのかい離は0.2ポイント広がった。

領 域	話すこと・聞くこと				書くこと				読むこと				言語事項				合 計					
	H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H19		
県平均正答率(%)	75.0	61.1	72.7	67.6	92.2	12.7	48.0	60.5	73.1	55.6	46.6	56.5	72.3	58.5	79.4	77.7	49.8	49.2	61.0	61.0		
全国平均正答率(%)	75.4	61.3	73.0	70.9	91.6	14.5	49.1	61.7	73.4	56.5	48.3	57.7	73.0	59.7	77.0	77.8	50.5	50.5	62.0	62.0		
全国との比較	-0.4	-0.2	-0.3	-3.3	0.6	-1.8	-1.1	-1.2	-0.3	-0.9	-1.7	-1.2	-0.7	-1.2	2.4	-0.1	-0.7	-1.3	-1.0	-1.0		

### (4) 設問別調査結果

- 全国とのかい離が大きい設問等(◇:かい離がプラス, ◆:かい離がマイナス, [ ]内の記号は設問番号)

話すこと・聞くこと	◆ 発表の中で写真を示す場面として適切な箇所を選択する問題の正答率は80.3%であり、全国平均を0.4ポイント下回った。[3-①]
書くこと	◇ 学校新聞に対する二つの意見の相違点を書く問題の正答率は90.2%であり、全国平均を0.7ポイント上回った。[1イ]
読むこと	◆ 物語を読んで、指示された部分についてのあらすじを書く問題の正答率は72.3%であり、全国平均73.0%を0.7ポイント下回った。[2-(1)]

設問番号	設問の概要	領域				問題形式			宮城県		全国		正答率の かい離	無解答率の かい離
		話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	選択式	短答式	記述式	正答率%	無解答率%	正答率%	無解答率%		
1ア	学校新聞に対する二つの意見の共通点を書く		○				○		94.3	1.8	93.7	2.0	0.6	-0.2
1イ	学校新聞に対する二つの意見の相違点を書く		○				○		90.2	2.3	89.5	2.5	0.7	-0.2
2- (1)	物語を読んで、指示された部分についてのあらすじを書く			○	○			○	72.3	5.1	73.0	5.3	-0.7	-0.2
2- (2)	物語を読んで、発表した内容の中に入る適切な言葉を選択する			○		○			72.3	1.6	72.9	2.0	-0.6	-0.4
2ニ	物語を読んで思ったことや考えたことと、その理由を書く			○				○	82.7	7.4	82.3	7.8	0.4	-0.4
3-①	発表の中で写真を示す場面として適切な箇所を選択する	○				○			80.3	1.7	80.7	2.0	-0.4	-0.3
3-②		○				○			77.9	1.8	77.9	2.1	0.0	-0.3
3ニ	話し手が聞き手に問いかけるよさについての説明を書く	○						○	71.9	11.5	73.0	11.2	-1.1	0.3
3三	聞き手が質問した内容に合う質問の観点を選択する	○					○		69.7	3.5	69.9	4.3	-0.2	-0.8
4	三つの時計の中から、条件に合ったものを選び、それを選んだ理由を書く			○				○	64.9	2.9	65.5	3.0	-0.6	-0.1

### (5) 指導改善のポイント

- 本や文章、実物や映像、リーフレット、図表などの中から目的や状況に応じて適切な資料及び情報を取り上げ、自分の考えを相手に明確に伝えられるように資料を活用できるように指導する。
- 考えたことなどを適切に伝えるために、聞き手に伝わっているか確認したり注目を促したりするなど話し方の工夫を指導するとともに、話し手の意図を考えながら話の内容を聞き、適切に質問することができるよう具体的に指導する。
- 事実と感想、意見あるいは理由と根拠などを区別して、それらの関係をカードに分類したりノートに構造的にまとめたりすることができるように書く活動を関連付け、思考を整理できるように指導する。
- 物語全体の構成や展開を押さえたり優れた叙述に着目したりして読むことや、感じたり考えたりしたことをまとめながら読むことができるように指導する。
- 複数の情報を比べて読むなどの効果的な読み方を工夫するとともに、楽しむためや調べるためなど、読む目的や意図に応じて本や文章を選び、的確に内容を押さえて読むことができるよう指導する。

### 3 小学校算数A問題

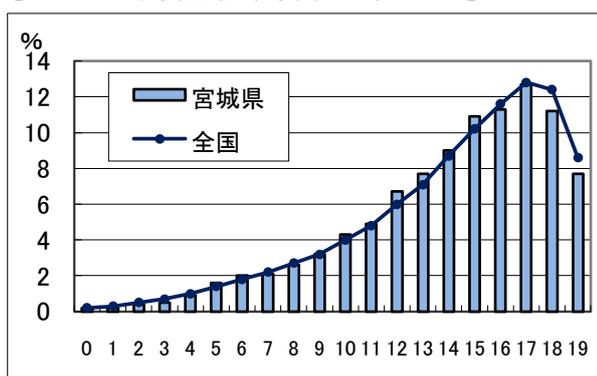
#### (1) 結果の概要

- 平均正答率は73.8%であり、全国平均を0.4ポイント下回っているが、全国平均とのかい離は21年度よりも0.8ポイント小さくなっており、やや改善が見られる。
- 円や台形の面積を求めることや、乗除の混じった計算のきまり、割合の表し方や折れ線グラフの読み取りなどに課題がある。

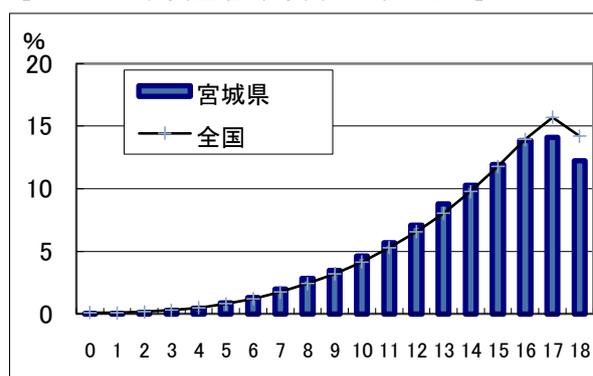
#### (2) 正答数分布状況

- 正答数の分布は全国とほぼ同様の傾向が見られる。
- 21年度と同様に、80%(16問程度)以上正答した児童の割合が全国と比べて低い状況が見られ、逆に、70%~80%(13問~15問程度)正答した児童の割合は全国と比べて高くなっている。

[平成22年度正答数度数分布グラフ]



[平成21年度正答数度数分布グラフ]



#### (3) 領域別の平均正答率

- 「数と計算」の領域の平均正答率は75.0%、「図形」の領域は83.7%と全国平均を上回っており、改善が見られるものの、「量と測定」「数量関係」は全国平均を下回っており、全国とのかい離も21年度より1ポイント程度大きくなっているなど課題が見られる。

領 域	数と計算				量と測定				図 形				数量関係				合 計			
	年 度	H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20												
県平均正答率(%)	75.0	81.2	76.2	79.6	72.0	77.4	56.1	85.1	83.7	81.1	71.6	86.3	63.4	63.0	69.8	74.0	73.8	77.5	71.3	81.1
全国平均正答率(%)	74.1	82.8	76.8	81.5	74.1	78.5	56.2	86.1	83.1	81.3	72.7	86.1	65.7	64.2	72.4	75.4	74.2	78.7	72.2	82.1
全国との比較	0.9	-1.6	-0.6	-1.9	-2.1	-1.1	-0.1	-1.0	0.6	-0.2	-1.1	0.2	-2.3	-1.2	-2.6	-1.4	-0.4	-1.2	-0.9	-1.0

#### (4) 設問別調査結果

- 全国とのかい離が大きい設問等(◇:かい離がプラス, ◆:かい離がマイナス, [ ]内の記号は設問番号)

<b>数と計算</b> ◇ 数量を等分したときの1つ分を分数で表す問題の正答率は48.6%であり、全国平均を8.4ポイント上回った。[2(2)]
<b>量と測定</b> ◆ 円を分割して並べたときにできる長方形について、横の長さが円のどの部分に当たるかを選ぶ問題の正答率は51.8%であり、全国平均を3.5ポイント下回った。[4(2)]
<b>図形</b> ◇ 長方形を1本の対角線で切って組み合わせてできた図形の名前を選ぶ問題の正答率は85.5%であり、全国平均を0.8ポイント上回った。[8(2)]
<b>数量関係</b> ◆ 折れ線グラフを読み、気温の上がり方が最も大きい時間を書く問題の正答率は71.1%であり、全国平均を2.7ポイント下回った。[9(2)]

設問番号	設問の概要	領域			問題形式			宮城県		全国		正答率の かい離	無解答率の かい離
		数と計算	量と測定	図形	数量関係	選択式	短答式	記述式	正答率%	無解答率%	正答率%		
1 (1)	243÷65 を計算する	○				○		86.7	0.2	86.9	0.2	-0.2	0.0
1 (2)	27×3.4 を計算する	○				○		84.6	0.3	84.3	0.4	0.3	-0.1
1 (3)	912÷4 を計算する	○				○		90.5	1.5	89.6	1.8	0.9	-0.3
1 (4)	8-0.5 を計算する	○				○		82.2	1.1	83.2	1.2	-1.0	-0.1
1 (5)	6÷5 の商を小数で表す	○				○		86.9	1.5	86.0	1.7	0.9	-0.2
1 (6)	50+150×2 を計算する				○	○		63.5	0.7	65.9	0.8	-2.4	-0.1
2 (1)	8mの重さが4kgの棒の1mの重さを求める式と答えを書く	○				○		51.7	3.4	53.8	3.6	-2.1	-0.2
2 (2)	2ℓのジュースを3等分したときの1つ分の量を分数で表す	○				○		48.6	4.9	40.2	5.4	8.4	-0.5
3	長方形の黒い部分を表す分数を選ぶ	○				○		68.8	0.7	68.6	0.8	0.2	-0.1
4 (1)	円を分割して並べたときにできる長方形について、縦の長さが円のどの部分に当たるかを選ぶ		○			○		77.0	0.8	80.1	1.0	-3.1	-0.2
4 (2)	円を分割して並べたときにできる長方形について、横の長さが円のどの部分に当たるかを選ぶ		○			○		51.8	0.8	55.3	1.0	-3.5	-0.2
5 (1)	三角定規が示された場面で、60°の補角の大きさを求める		○			○		82.6	2.1	82.7	2.3	-0.1	-0.2
5 (2)	上底3cm、下底7cm、高さ4cmの台形の面積を求める式と答えを書く		○			○		66.8	2.5	70.1	2.5	-3.3	0.0
6	立方体の展開図をかく場面で、5つの面が示されたとき、残りの1つの面をかく場所を選ぶ			○		○		88.9	1.0	88.3	1.4	0.6	-0.4
7	方眼紙上で、3点が与えられた平行四辺形の残りの点の位置を選ぶ			○		○		76.8	1.5	76.1	1.9	0.7	-0.4
8 (1)	長方形を1本の対角線で切って組み合わせでできた図形の面積が、元の長方形の面積と比べてどれだけ大きくなるかを選ぶ		○			○		81.9	2.1	82.2	2.6	-0.3	-0.5
8 (2)	長方形を1本の対角線で切って組み合わせでできた図形の名前を選ぶ			○		○		85.5	1.9	84.7	2.5	0.8	-0.6
9 (1)	じゃがいも畑の面積40㎡が、学校の畑の面積50㎡のどれだけの割合に当たるかを書く				○	○		55.6	9.9	57.4	10.4	-1.8	-0.5
9 (2)	折れ線グラフを読み、気温の上がり方が最も大きい時間を書く					○	○	71.1	3.5	73.8	4.3	-2.7	-0.8

## (5) 指導改善のポイント

- 基礎的な計算技能を確実に身に付けさせるためには、具体物や数直線などを用いて、数の仕組みや計算の意味を確実にとらえさせるとともに、繰り返し練習を通して継続的に指導する。
- 円の面積では円を等分して並べ替えた長方形の縦と横の長さが元の円のどの部分に当たるかなどを考えたり、台形の面積では既習の平行四辺形や三角形の考え方に帰着して「÷2」の意味を説明したりする活動を充実させ、面積を求める公式の意味を実感的に理解できるようにする。
- 図形の弁別では、根拠となる定義や性質を明確にして説明する活動を充実させるとともに、図形を分割したり組み合わせたりしてできる図形と元の図形の辺や角を対応させて考えたり説明したりする活動を取り入れる。
- 割合では、テープ図や数直線図に表す活動を取り入れ、数量の関係を実感的にとらえられるようにするとともに、数量の関係について、何を基にしているのか明確にして説明する活動を取り入れる。
- 折れ線グラフの学習では、グラフから数値を読み取るだけでなく、ある区間や部分に着目して読み取る活動を取り入れ、特徴や傾向を発表し合う場を設定する。

## 4 小学校算数B問題

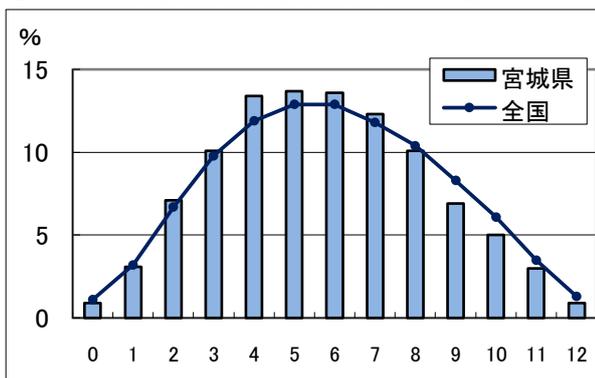
### (1) 結果の概要

- 平均正答率は47.8%であり、全国平均を1.5ポイント下回り、全国平均とのかい離は21年度よりも0.7ポイント大きくなっており、課題がある。
- 「計算のきまりを活用した式表現」や「平行四辺形の場合を台形に適用した説明」、「平面図形と立体図形の対応」、「二次元表と円グラフの関連」、「割合の意味を基にした判断」など、全般に課題が見られる。

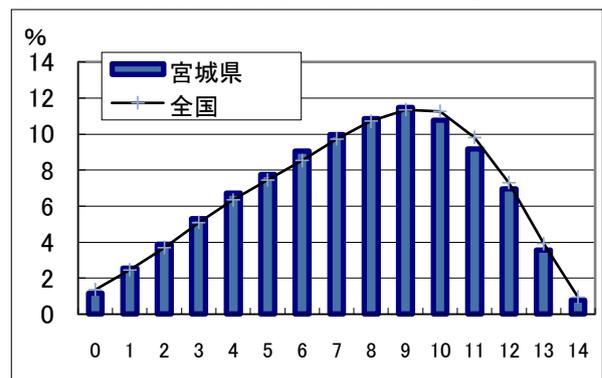
### (2) 正答数分布状況

- 正答数は全国より下方に分布している。
- 今年度は、21年度と比べ、75%(9問)以上正答した児童の割合が全国と比べて低い状況が見られ、全国とのかい離が大きくなっている。

[平成22年度正答数度数分布グラフ]



[平成21年度正答数度数分布グラフ]



### (3) 領域別の平均正答率

- すべての領域で、全国を下回り、前年度よりかい離が大きくなっており、課題が見られる。特に「量と測定」は、2ポイント以上かい離している。

領域	数と計算				量と測定				図形				数量関係			合計				
	H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H22	H21	H20	H19	
県平均正答率(%)	54.8	55.0	64.3	55.0	30.6	58.7	51.9	55.7	40.3	54.6	59.9	71.0	52.8	57.1	43.8	63.6	47.8	54.0	50.4	61.4
全国平均正答率(%)	55.8	55.8	65.2	58.9	33.3	59.9	53.3	58.0	42.0	56.4	61.2	72.5	54.3	56.8	44.9	65.5	49.3	54.8	51.6	63.6
全国との比較	-1.0	-0.8	-0.9	-3.9	-2.7	-1.2	-1.4	-2.3	-1.7	-1.8	-1.3	-1.5	-1.5	0.3	-1.1	-1.9	-1.5	-0.8	-1.2	-2.2

### (4) 設問別調査結果

- 全国とのかい離が大きい設問等(◇:かい離がプラス, ◆:かい離がマイナス, [ ]内の記号は設問番号)

#### 数と計算

- ◆ えんぴつ一本の定価を整数にするために、おつりの金額を何円に変えればよいかを選ぶ問題の正答率は、54.8%で、全国平均を1.0%下回った。[1(1)]

#### 量と測定

- ◆ 平行四辺形から台形に変えて、示された2つの三角形の面積が等しいことの説明を書く問題の正答率は30.6%で、全国平均を2.7ポイント下回った。[4]

#### 図形

- ◆ 示された部品を組み立てて作ることができる本立てを2つ選ぶ問題の正答率が63.4%で、全国平均を2.2ポイント下回った。[2(2)]

#### 数量関係

- ◇ 3つの円グラフを見て、けがが最も多く起こった場所を書く問題の正答率が96.0%で全国を0.1ポイント上回った。[3(1)]
- ◆ 二次元表の一部分の数を使って書くことのできる円グラフを選ぶ問題の正答率が37.8%で全国を2.2ポイント下回った。[3(3)]

設問番号	設問の概要	領域			問題形式			宮城県		全国		正答率の かい離	無解答率の かい離	
		数と計算	量と測定	図形	数量関係	選択式	短答式	記述式	正答率%	無解答率%	正答率%			無解答率%
1 (1)	えんびつ1本の定価を整数にするために、おつりの金額を何円に変えればよいかを選ぶ	○				○			54.8	0.3	55.8	0.6	-1.0	-0.3
1 (2)	おつりを正しく求められるように式に( )を書き加える				○		○		37.8	10.8	42.2	12.1	-4.4	-1.3
2 (1)	本立ての部品の図を見て、どのような長方形かを書く			○			○		30.4	14.6	31.7	13.6	-1.3	1.0
2 (2)	示された部品を組み立てて、作ることができる本立てを2つ選ぶ			○		○			63.4	1.3	65.6	1.6	-2.2	-0.3
3 (1)	3つの円グラフを見て、けがが最も多く起こった場所を書く				○		○		96.0	0.9	95.9	1.1	0.1	-0.2
3 (2)	二次元表の中の数が何を意味しているのかを書く				○		○		61.2	3.7	61.4	3.6	-0.2	0.1
3 (3)	二次元表の一部分の数を使ってかくことのできる円グラフを選ぶ				○	○			37.8	1.1	40.0	1.2	-2.2	-0.1
4	平行四辺形から台形に図形を変えて、示された2つの三角形の面積が等しいことの説明を書く	○	○				○		30.6	24.4	33.3	22.0	-2.7	2.4
5 (1)	定価1000円の図に対して、定価の30%引き後の値段を表している図を選ぶ				○	○			68.9	1.3	69.0	1.9	-0.1	-0.6
5 (2)	割引券を使うと値引きされる金額が最も大きくなる商品を選び、そのわけを書く				○		○		15.0	4.8	17.1	4.5	-2.1	0.3
6 (1)	バスのドアの下にできる三角形について、その名前を選び、判断のわけを選ぶ			○		○			64.0	2.6	64.8	3.1	-0.8	-0.5
6 (2)	バスのドアが動く様子を表した図を見て、円周の一部と直線の長さの大小についての正しい記述を選び、判断のわけを書く			○			○		13.2	9.1	14.6	9.2	-1.4	-0.1

## (5) 指導改善のポイント

- 問題場面の情報を整理して図に表したり、何が分かれば解決できるのかを言葉で書き出したりする活動に継続的に取り組ませ、根拠を明らかにして立式をする経験を積ませる。
- 面積を求める学習において、辺の長さを示さずに図形を提示し、どの部分の長さが必要かを考えさせその長さを知るためにどうしたらよいかを考えたり測定したりする活動を取り入れる。
- 学習した図形を身の回りから見いだす活動や、見いだした図形のどの情報を用いれば問題を解決できるかを考える活動を取り入れる。
- グラフから読み取ったことを概数で表したり、割合を数直線で表したりするなど、数量関係と他の領域との関連を図った補充的・発展的な学習を取り入れる。

## 5 中学校国語A問題

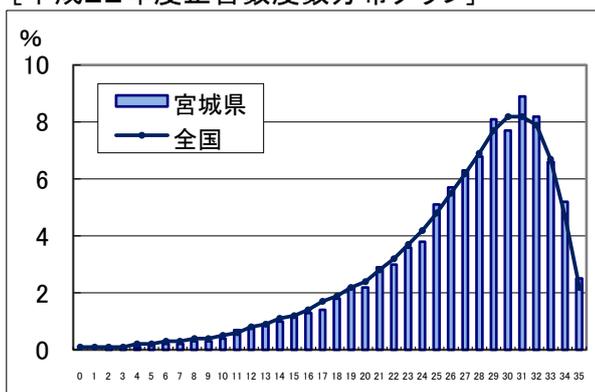
### (1) 結果の概要

- 平均正答率は76.2%であり、21年度と同様に全国平均を1.1ポイント上回る結果となっている。
- 「話すこと・聞くこと」や「書くこと」「読むこと」「言語事項」の全てにおいて全国平均を上回り、基礎的・基本的な内容に関する知識・技能について、概ね身に付けている。

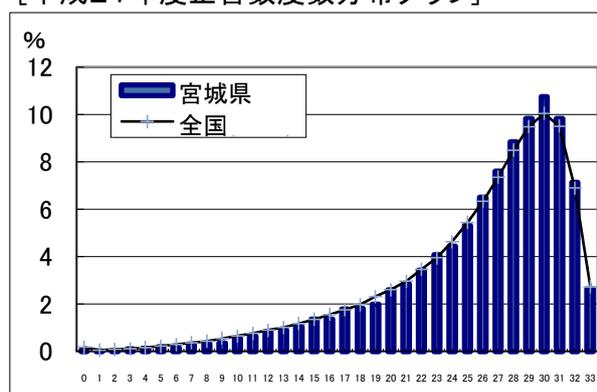
### (2) 正答数分布状況

- 正答数の分布は全国とほぼ同様の傾向が見られる。
- 21年度と同様に、80%(27問)以上正答した生徒の割合が、全国と比べてやや高い状況が見られる。

[平成22年度正答数度数分布グラフ]



[平成21年度正答数度数分布グラフ]



### (3) 領域別の平均正答率

- 「話すこと・聞くこと」や「書くこと」「読むこと」「言語事項」の全ての領域において全国平均を上回っている。特に「話すこと・聞くこと」の領域では、全国平均を1.4ポイント上回っている。

領 域	話すこと・聞くこと				書くこと				読むこと				言語事項				合 計			
	H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H19
県平均正答率(%)	75.6	87.0	80.3	90.3	71.6	65.8	55.8	74.1	77.9	76.7	71.2	79.9	76.8	77.4	75.4	78.2	76.2	78.1	73.8	80.8
全国平均正答率(%)	74.2	86.8	80.1	90.1	71.1	64.6	55.2	73.4	76.6	75.7	71.0	80.6	75.8	76.0	75.2	80.3	75.1	77.0	73.6	81.6
全国との比較	1.4	0.2	0.2	0.2	0.5	1.2	0.6	0.7	1.3	1.0	0.2	-0.7	1.0	1.4	0.2	-2.1	1.1	1.1	0.2	-0.8

### (4) 設問別調査結果

- 全国とのかい離が大きい設問等(◇:かい離がプラス, ◆:かい離がマイナス, [ ]内の記号は設問番号)

#### 話すこと・聞くこと

- ◇ 目的に沿った話し合いになるように適切に質問する問題の正答率が84.2%であり、全国平均を2.5ポイント上回った。[7-]

#### 書くこと

- ◇ 修飾語に合わせて述語を書き直す問題の正答率が93.1%であり、全国平均を3.0ポイント上回った。[4-]
- ◆ 一文を二文に分けて書く問題の正答率が40.2%であり、全国平均を1.2ポイント下回った。[4二]

#### 読むこと

- ◇ 論理の展開をとらえて内容を理解する問題の正答率が59.6%で、全国平均を3.0ポイント上回った。[8-]

#### 言語事項

- ◇ 漢字の楷書と行書との違いを捉える問題の正答率が50.9%で、全国平均を4.2ポイント上回った。[10七]
- ◆ 文脈に即して漢字を正しく書く問題で全国平均を下回った問題が複数あった。中でも「公式」と書く漢字の正答率が70.8%であり、全国平均を2.8ポイント下回った。[10-1]

設問 番号	設問の概要	領 域				問題形式			宮城県		全国		正 答 率 の か い 離	無 解 答 率 の か い 離
		聞 話 す こ と	書 く こ と	読 む こ と	言 語 事 項	選 択 式	短 答 式	記 述 式	正 答 率 %	無 解 答 率 %	正 答 率 %	無 解 答 率 %		
1	百人一首の上の句に続く下の句を選択する			○		○			86.4	0.1	83.6	0.2	2.8	-0.1
2	書き手が用いた根拠の不十分さを指摘したのとして適切なものを選択する			○		○			84.3	0.1	82.6	0.3	1.7	-0.2
3一	演説の話し方の特徴として適切なものを選択する	○				○			60.8	0.4	58.9	0.5	1.9	-0.1
3二	演説の際、聞き手が重視して聞いているものとして適切なものを選択する	○				○			74.3	0.4	73.9	0.6	0.4	-0.2
4一	修飾語に合わせて述語の部分を適切に書き直す		○				○		93.1	2.9	90.1	3.6	3.0	-0.7
4二	一文を二文に分けて書く		○				○		40.2	4.7	41.4	5.7	-1.2	-1.0
5一	「ぼく」が悲しくなってきた理由として適切なものを選択する			○		○			86.2	0.1	84.2	0.3	2.0	-0.2
5二	文章の表現の特徴として適切なものを選択する			○		○			76.4	0.2	75.7	0.4	0.7	-0.2
6一	体言止めを用いている行の番号を詩の中から選択する			○		○			68.6	0.7	69.6	1.0	-1.0	-0.3
6二	解説文にある言葉と同じ内容を表す言葉を詩の中から抜き出す			○			○		86.0	2.4	86.3	2.6	-0.3	-0.2
7一	提案に対する適切な質問を選択する	○				○			84.2	0.2	81.7	0.5	2.5	-0.3
7二	話合いの中での発言のもつ役割として適切なものを選択する	○				○			83.3	0.3	82.4	0.6	0.9	-0.3
8一	「鳥とは違う」カモノハシの特徴を選択する			○		○			59.6	0.3	56.6	0.5	3.0	-0.2
8二	「ひどい文章」の説明として適切なものを選択する			○		○			75.6	0.7	74.5	1.0	1.1	-0.3
9一ア	案内文に必要な項目の名称を書く		○				○		69.6	3.4	69.8	4.0	-0.2	-0.6
9一イ			○					○		94.7	2.9	93.5	3.7	1.2
9二	小学生に向けた案内文となるように適切な文を書く		○				○		60.6	9.0	60.9	9.3	-0.3	-0.3
10一1	漢字を書く（先生に <u>ソウダン</u> する）				○		○		75.4	7.5	76.0	7.2	-0.6	0.3
10一2	漢字を書く（ <u>コウシキ</u> を使って面積を求める）				○		○		70.8	11.7	73.6	10.5	-2.8	1.2
10一3	漢字を書く（鏡に <u>スガタ</u> をうつす）				○		○		82.8	11.5	82.1	11.7	0.7	-0.2
10二1	漢字を読む（物語の <u>冒頭</u> を読む）				○		○		92.6	3.3	92.7	3.4	-0.1	-0.1
10二2	漢字を読む（ <u>衝撃</u> を受ける）				○		○		95.5	1.3	94.8	2.1	0.7	-0.8
10二3	漢字を読む（調べたことから結論を <u>選</u> く）				○		○		97.3	1.6	96.3	2.3	1.0	-0.7
10三ア	同音異義語から適切なものを選択する（物質が変化していく <u>過程</u> を調べる）				○	○			84.4	0.8	84.2	1.2	0.2	-0.4
10三イ	同訓異字から適切なものを選択する（会議で決を <u>採</u> る）				○	○			42.7	0.9	43.2	1.3	-0.5	-0.4
10三ウ	適切な語句を選択する（わたしが健康になったのは、 <u>ム</u> と <u>エ</u> に母のおかげです）				○	○			66.1	1.0	63.5	1.5	2.6	-0.5
10三エ	適切な敬語を選択する（参観日には父が学校へ来ると <u>申</u> しておりました）				○	○			52.3	1.2	52.8	1.7	-0.5	-0.5
10三オ	適切な語句を選択する（兄は困っている人を見ると <u>ほ</u> うっておけない <u>性分</u> だ）				○	○			53.2	1.9	48.8	2.3	4.4	-0.4
10四1	同じような意味の文になるように適切な一字を書く				○		○		94.2	2.6	93.4	3.3	0.8	-0.7
10四2						○		○		85.2	2.0	83.4	2.6	1.8
10五A	部首の説明として適切なものを選択する（ <u>りっしん</u> べん）				○	○			90.4	1.0	89.4	1.5	1.0	-0.5
10五B	部首の説明として適切なものを選択する（ <u>うかん</u> むり）				○	○			93.7	1.1	92.3	1.5	1.4	-0.4
10六	国語辞典で調べたことをもとに、ことわざに込められた思いとして適切なものを選択する				○	○			78.7	1.2	75.6	1.7	3.1	-0.5
10七	行書の特徴の説明として適切なものを選択する				○	○			50.9	1.4	46.7	2.0	4.2	-0.6
10八	読みやすい連絡板にするための先生の助言として適切なものを選択する				○	○			76.0	1.5	75.3	2.0	0.7	-0.5

### (5) 指導改善のポイント

- 話し手の発言に対して質問や確認をさせたり新たな提案をさせたりするなど、目的をもち、観点を明らかにして相手の考えを聞き取ることができるよう指導する。
- 書いた文章を読み返す機会を学習過程に位置付け、推敲の習慣化を図るとともに、単に文章を修正するだけでなく、なぜ修正するのかを意識させながら、自分で読み返したりペアやグループで文章を検討させたりする指導を行う。
- 文脈における語句の効果的な使い方について理解させるなど、表現の仕方や文章の特徴、論理の展開の仕方に注意して読み進められるよう指導する。
- 実際に漢字を読んだり書いたりする機会を多くして習熟を図るとともに、語句の意味を話や文脈の中できとらえさせる指導や類義語、同音異義語などを使い分けたり意味の違いを考えさせたりする指導を積極的に行う。

## 6 中学校国語B問題

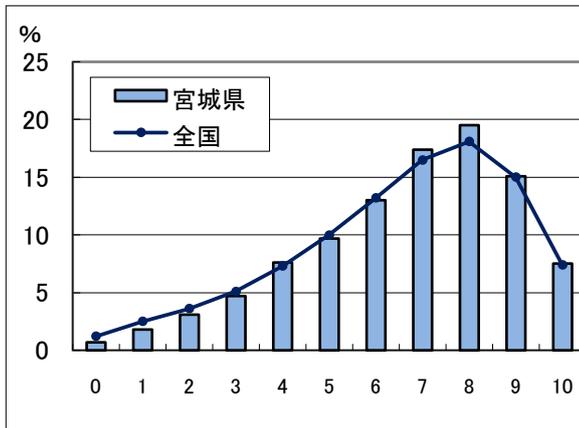
### (1) 結果の概要

- 平均正答率が66.7%であり、全国平均とのかい離は21年度よりも0.5ポイント小さくなったものの、全国平均を1.4ポイント上回る結果となっている。
- 「読むこと」領域における表現の仕方をとらえる問題に課題はあるものの、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域全てにおいて全国平均より高い状況にある。

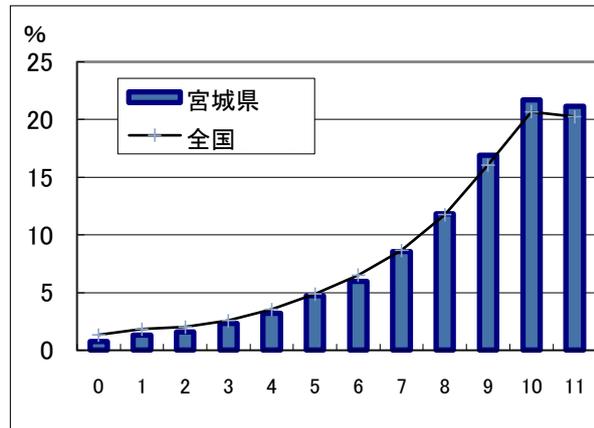
### (2) 正答数分布状況

- 正答数の分布は全国とほぼ同様の傾向が見られる。
- 21年度と同様に、80%(8問)以上正答した生徒の割合が、全国と比べてやや高い状況が見られる。

[平成22年度正答数度数分布グラフ]



[平成21年度正答数度数分布グラフ]



### (3) 領域別の平均正答率

- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域全てにおいて全国平均を上回り、特に「書くこと」の領域では、全国平均を2.6ポイント上回っている。また、「読むこと」の領域の表現の仕方に関する1問を除き、全ての設問で全国平均を上回っている。

領 域	話すこと・聞くこと				書くこと				読むこと				言語事項				合 計			
	H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H19
県平均正答率(%)	47.5			81.8	62.8	75.0	48.1	63.4	68.8	76.4	61.8	69.8			63.1	67.4	66.7	76.4	61.8	71.0
全国平均正答率(%)	45.6			81.3	60.2	72.5	46.7	64.4	67.5	74.5	60.8	70.6			60.5	68.5	65.3	74.5	60.8	72.0
全国との比較	1.9			0.5	2.6	2.5	1.4	-1.0	1.3	1.9	1.0	-0.8			2.6	-1.1	1.4	1.9	1.0	-1.0

### (4) 設問別調査結果

- 全国とのかい離が大きい設問等(◇:かい離がプラス, ◆:かい離がマイナス, [ ]内の記号は設問番号)

#### 話すこと・聞くこと

- ◇ 資料の提示の仕方を工夫しその方法について具体的に説明する問題の正答率が47.5%であり、全国平均を1.9ポイント上回った。〔2三〕

#### 書くこと

- ◇ 記事文に書かれている内容をもとに自分の考えを書く問題の正答率が57.3%であり、全国平均を5.7ポイント上回った。〔1三〕

#### 読むこと

- ◇ 書かれている情報を的確に関連付けて読む問題の正答率が76.9%で、全国平均を2.2ポイント上回った。〔1一〕
- ◆ 記事文における表現の仕方をとらえる問題の正答率が45.9%で、全国平均を3.0ポイント下回った。〔1二〕

設問番号	設問の概要	領域			問題形式			宮城県		全国		正答率の かい離	無解答率の かい離	
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	選択式	短答式	記述式	正答率%	無解答率%	正答率%			無解答率%
1一	トップ記事で紹介している施設が開設された年月を書く			○			○		76.9	1.6	74.7	2.4	2.2	-0.8
1二	トップ記事とコラムとを比較し、書き方の特徴として適切なものを選択する			○		○			45.9	0.5	48.9	1.0	-3.0	-0.5
1三	新聞を読んで、興味をもった記事について感想を書く		○	○			○		57.3	3.0	51.6	3.8	5.7	-0.8
2一	提示する資料に表れている工夫として適切なものを選択する			○		○			79.6	0.2	78.5	0.5	1.1	-0.3
2二	提示する資料に、説明したい内容を簡潔に書く		○	○			○		82.6	6.8	81.8	7.8	0.8	-1.0
2三	資料の修正の方法を選択し、修正の具体的なやり方とその理由を書く	○	○				○		47.5	9.3	45.6	10.3	1.9	-1.0
3一A	前後の関係から語句の意味をとらえ、適切なものを選択する			○		○			85.8	0.2	85.3	0.7	0.5	-0.5
3一B				○		○			91.1	0.4	89.2	0.8	1.9	-0.4
3二	本文中の表現がたとえている内容をとらえて書く			○			○		36.1	16.9	35.5	18.7	0.6	-1.8
3三	二つの表現に共通した面白さについて自分の考えを書く		○	○			○		63.9	19.8	62.0	22.0	1.9	-2.2

### (5) 指導改善のポイント

- 伝えたい内容が効果的に伝わるよう、話の構成や展開を内容と形式との両面から十分に考えるよう指導するとともに、情報機器の使用も視野に入れ、図表や写真などを効果的に用いて発表するような学習活動を工夫する。
- 様々な相手を想定して、それにふさわしい表現で行事の案内などの実用的な文章を作成する学習を取り入れるなど、相手や目的に応じて適切な表現を考えることができるような指導を行う。
- 教科書の教材に加え、身近にある新聞やパンフレット、広告などを用いてそこに書かれている情報を的確に理解させるとともに、比較したり、関連付けたりして自分なりの意見や感想をもたせる授業展開を工夫する。

## 7 中学校数学A問題

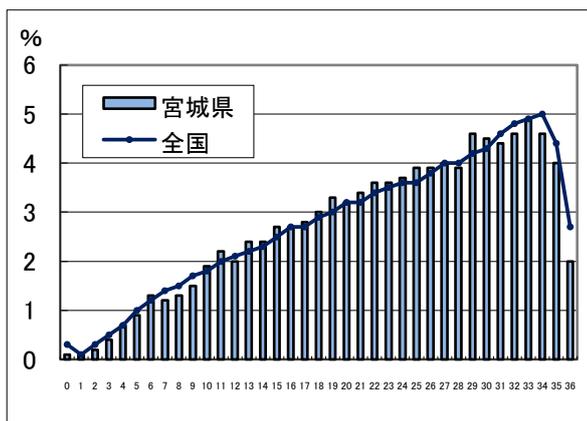
### (1) 結果の概要

- 平均正答率は64.4%であり、全国平均を0.2ポイント下回ったが、全国平均とのかい離は21年度よりも0.4ポイント小さくなり、やや改善が見られる。
- 「数量関係」領域についての基礎的・基本的な知識・技能は、概ね身に付いてきている。
- 「数と式」領域では、方程式の解の意味の理解や技能に課題が見られ、「図形」領域では、図形の性質の理解、体積の求め方の理解、空間図形の見取り図の読み取りなどに課題がある。

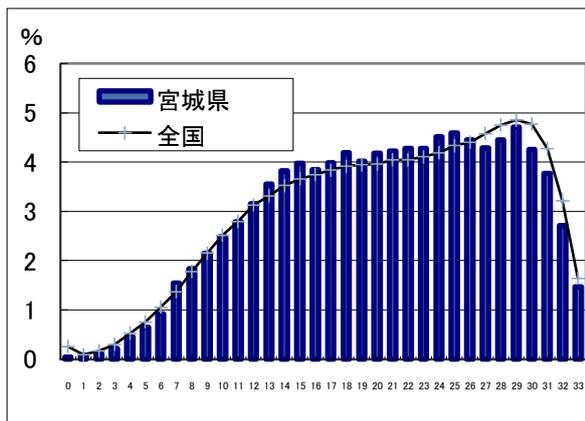
### (2) 正答数分布状況

- 正答数の分布は全国とほぼ同様の傾向が見られる。
- 22年度は、21年度と同様に、80%(31問)以上正答した児童の割合が全国と比べてやや低い状況が見られ、全国とのかい離がやや大きくなっている。

[平成22年度正答数度数分布グラフ]



[平成21年度正答数度数分布グラフ]



### (3) 領域別の平均正答率

- 「数量関係」の領域の平均正答率は全国平均をやや上回る結果となっているものの、「数と式」と「図形」の領域では、全国平均を下回っている。

領 域	数と式				図形				数量関係				合 計			
	H22	H21	H20	H19												
年度																
県平均正答率(%)	74.7	66.0	65.4	72.4	63.8	64.8	61.6	73.7	54.6	55.7	57.3	64.4	64.4	62.1	61.4	70.3
全国平均正答率(%)	75.2	67.3	68.0	74.4	64.3	64.6	62.7	75.5	54.3	56.2	58.6	65.9	64.6	62.7	63.1	71.9
全国との比較	-0.5	-1.3	-2.6	-2.0	-0.5	0.2	-1.1	-1.8	0.3	-0.5	-1.3	-1.5	-0.2	-0.6	-1.7	-1.6

### (4) 設問別調査結果

- 全国とのかい離が大きい設問等(◇:かい離がプラス, ◆:かい離がマイナス, [ ]内の記号は設問番号)

#### 数と式

- ◆ 分数を含む一元一次方程式を解く問題の正答率は52.5%であり、全国平均を5.6ポイント下回った。〔3(2)〕

#### 図形

- ◆ 三角形の外角とそれととなり合わない2つの内角の和の関係の問題の正答率は65.5%であり、全国平均を3.9ポイント下回った。〔6(1)〕

#### 数量関係

- ◇ 一次関数の式や変化の割合やグラフの理解についての問題の正答率は57.4%、59.4%であり、全国平均をそれぞれ5.8ポイント、4.2ポイント上回った。〔11(1)(2)〕

設問番号	設問の概要	領域			問題形式			宮城県		全国		正答率の かい離	無解答率の かい離
		数と式	図形	数量関係	選択式	短答式	記述式	正答率%	無解答率%	正答率%	無解答率%		
1(1)	$1/4+2/5$ を計算する	○				○		84.2	1.6	84.7	2.1	-0.5	-0.5
1(2)	-10より大きい負の整数を1つ書く	○				○		76.8	2.4	74.5	3.0	2.3	-0.6
1(3)	150を基準にして128を負の数で表す	○				○		85.4	2.9	85.5	3.2	-0.1	-0.3
2(1)	$b \times 5 \times a$ を文字を用いた式の表し方にしたがって書く	○				○		90.7	4.3	90.8	5.0	-0.1	-0.7
2(2)	$210a$ で表される事象を選ぶ	○			○			73.4	0.2	74.5	0.5	-1.1	-0.3
2(3)	$x=3$ のときの式 $12/x$ の値を求める	○				○		90.9	4.7	90.3	5.2	0.6	-0.5
2(4)	2けたの自然数を表す式を選ぶ	○			○			66.1	0.4	65.9	0.8	0.2	-0.4
2(5)	等式 $2x+y=5$ を、 $y$ について解く	○				○		70.5	7.3	72.1	7.3	-1.6	0.0
3(1)	$2x=x+3$ の解について正しい記述を選ぶ	○			○			54.7	0.9	55.2	1.3	-0.5	-0.4
3(2)	$(x+1)/5=2$ を解く	○				○		52.5	16.1	58.1	15.5	-5.6	0.6
3(3)	連立方程式 $\begin{cases} 3x+2y=9 \\ x+y=4 \end{cases}$ を解く	○				○		77.5	6.6	78.3	7.7	-0.8	-1.1
3(4)	連立方程式をつくるために着目する数量を選び、式で表す	○				○		73.8	0.8	72.1	1.3	1.7	-0.5
4(1)	線対称な図形の対称軸を選ぶ		○		○			68.2	0.3	68.5	0.7	-0.3	-0.4
4(2)	垂線の作図の手順を選ぶ		○		○			86.6	0.3	85.9	0.7	0.7	-0.4
5(1)	立体の辺が底面に垂直であるかどうかを調べる方法として、正しいものを選ぶ		○		○			57.5	0.6	57.1	0.9	0.4	-0.3
5(2)	三角形をそれと垂直な方向に一定の距離だけ平行に動かしてできる立体を選ぶ		○		○			84.1	0.4	83.0	0.8	1.1	-0.4
5(3)	立方体の見取図をよみとり、2つの線分の長さの関係について、正しいものを選ぶ		○		○			51.0	0.6	53.6	1.1	-2.6	-0.5
5(4)	円柱の体積を求める式と答えを書く		○			○		36.9	18.5	39.9	17.7	-3.0	0.8
6(1)	三角形の外角を表す式を選ぶ		○		○			65.5	0.4	69.4	0.9	-3.9	-0.5
6(2)	五角形の1つの頂点を動かし、角の大きさを $90^\circ$ に変えたときの内角の和の変化として正しいものを選		○		○			72.3	0.5	72.8	1.0	-0.5	-0.5
7(1)	事柄「 $AO=BO$ 、 $CO=DO$ ならば $AC=BD$ である。」の仮定をすべて書く		○			○		78.7	8.5	75.2	10.8	3.5	-2.3
7(2)	証明で用いられている合同条件を選ぶ		○		○			54.3	0.6	55.4	1.1	-1.1	-0.5
7(3)	平行四辺形になるための条件を、記号を用いて表す		○			○		62.8	13.2	61.9	14.8	0.9	-1.6
8	証明された事柄に新たな条件を付け加えた事柄について、正しい記述を選ぶ		○		○			47.6	0.8	48.7	1.4	-1.1	-0.6
9(1)	比例の表を完成させる			○		○		87.8	4.5	87.8	5.3	0.0	-0.8
9(2)	$y=-2x$ 上の点を選ぶ			○	○			36.6	1.4	40.4	1.8	-3.8	-0.4
9(3)	比例のグラフから $x$ の変域に対応する $y$ の変域を求め			○		○		49.1	19.7	45.0	20.0	4.1	-0.3
10(1)	$y=3/x$ について、正しい記述を選ぶ			○	○			45.7	2.0	48.8	2.4	-3.1	-0.4
10(2)	反比例 $y=12/x$ のグラフを選ぶ			○	○			61.8	1.8	62.7	2.3	-0.9	-0.5
11(1)	一次関数の式から変化の割合を求める			○		○		57.4	22.1	51.6	26.6	5.8	-4.5
11(2)	一次関数のグラフから式を求める			○		○		59.4	13.9	55.2	16.0	4.2	-2.1
11(3)	16cmの長さのひもで作る長方形の縦の長さと横の長さの関係を式で表す			○		○		21.2	27.6	22.9	28.2	-1.7	-0.6
12	水槽に水を入れ始めてからの時間と水の量の関係について、正しい記述を選ぶ			○	○			51.4	1.6	48.9	2.1	2.5	-0.5
13	連立二元一次方程式の解を、グラフ上の点から選ぶ			○	○			59.5	2.9	58.7	3.2	0.8	-0.3
14(1)	総当たり戦の試合数を求める			○		○		62.1	9.6	66.4	10.4	-4.3	-0.8
14(2)	1枚の硬貨を投げるときの確率について正しい記述を選ぶ			○	○			63.2	2.4	63.7	2.6	-0.5	-0.2

### (5) 指導改善のポイント

- 基礎的な計算技能について、計算練習を繰り返すなど継続的に指導していくとともに、単に練習を繰り返すだけではなく、計算の意味理解の指導をあわせて行うようにする。
- 図形の学習では、図をかかせたり紙を折ったりするような実感的な活動を取り入れていくとともに、既習事項を用いて、図形の性質等について、数学的な表現を用いて口述したり記述したりする活動を積極的に取り入れ指導する。
- 数量関係の学習では、具体的な事象における二つの数量関係の対応表を活用して、グラフや式に表したり、対応表から数量の変化の関係を見いだしたりするなど、表と式、グラフを関連付けた指導を行う。

## 8 中学校数学B問題

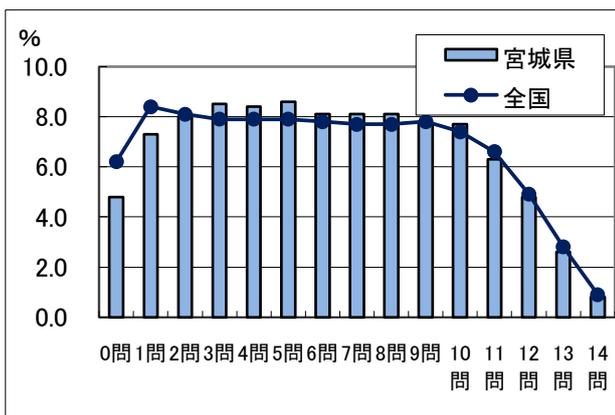
### (1) 結果の概要

- 平均正答率は44.0%であり、全国平均を0.7ポイント上回っており、全国平均とのかい離は21年度とほぼ同様である。
- 「数と式」において発展的に考え、見いだした事柄を説明することや「図形」において事象を図形に着目して観察し、特徴を的確にとらえることについては身に付いてきている。「数量関係」において問題解決のための構想を立て実践し、その結果を数学的に表現することや「図形」において事象を数学的に解釈し、数学的な表現を用いて説明することについては課題がある。

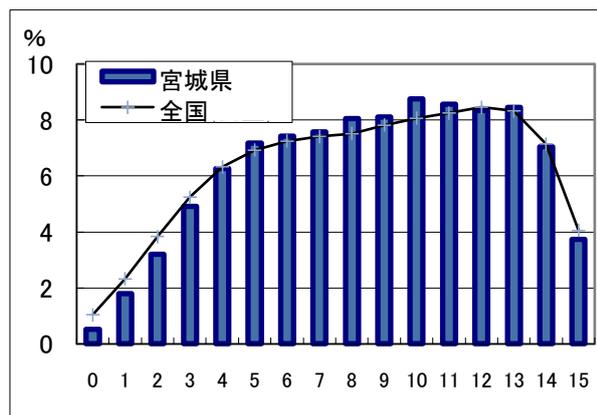
### (2) 正答数分布状況

- 正答数の分布状況は全国とほぼ同様の傾向が見られるが、20%(3問)未満正答した生徒の割合は全国より低くなっている。
- 今年度は、21年度よりも80%(11問)以上正答した生徒の割合が低く、20%~40%(3問~6問)の生徒の割合が21年度(3問~6問)に比べ増加傾向にある。

[平成22年度正答数度数分布グラフ]



[平成21年度正答数度数分布グラフ]



### (3) 領域別の平均正答率

- 「数と式」「図形」「数量関係」のすべての領域において、平均正答率が全国平均を上回る結果となっている。

領域	数と式				図形				数量関係				合計			
	H22	H21	H20	H19												
県平均正答率(%)	43.5	61.6	53.8	45.5	41.1	58.8	59.2	54.0	46.2	54.7	44.2	67.0	44.0	57.7	49.1	59.4
全国平均正答率(%)	43.2	61.4	54.2	48.2	40.2	57.5	57.6	53.1	45.5	54.1	44.7	67.9	43.3	56.9	49.2	60.6
全国との比較	0.3	0.2	-0.4	-2.7	0.9	1.3	1.6	0.9	0.7	0.6	-0.5	-0.9	0.7	0.8	-0.1	-1.2

### (4) 設問別調査結果

- 全国とのかい離が大きい設問等(◇:かい離がプラス, ◆:かい離がマイナス, [ ]内の記号は設問番号)

#### 数と式

- ◇ 見いだした事柄を表現する問題の正答率は59.5%であり、全国平均を2.0ポイント上回った。[2(3)]
- ◆ 筋道を立てて考え、事柄が一般的に成り立つ理由を説明する問題の正答率は23.1%であり、全国平均を1.2ポイント下回った。[2(2)]

#### 図形

- ◇ 事象を図形に着目して観察し、特徴を的確にとらえる問題の正答率は59.0%であり、全国平均を1.2ポイント上回った。[5(1)]
- ◆ 事象を数学的に解釈し、数学的な表現を用いて説明する問題は全国平均を0.4ポイント上回っているものの正答率は9.8%にとどまっている。[5(2)]

#### 数量関係

- ◇ 表やグラフから必要な情報をよみとり、事象を数学的に解釈する問題の正答率は54.1%であり、全国平均を1.5ポイント上回った。[3(1)]
- ◆ 与えられた情報から必要な情報を適切に選択し処理する問題の正答率は72.3%であり全国平均を0.4ポイント下回っている。[1-(1)]

設問番号	設問の概要	領域		問題形式			宮城県		全国		正答率の かい離	無解答率の かい離	
		数と式	図形	数量関係	選択式	短答式	記述式	正答率%	無解答率%	正答率%			無解答率%
1(1)	身体活動量を求める式を用いて、自転車で30分間乗ったときの身体活動量を求める			○		○		72.3	2.3	72.7	3.6	-0.4	-1.3
1(2)	数量の関係を連立二元一次方程式で表し、これを解く	○				○		37.7	20.3	38.6	21.1	-0.9	-0.8
1(3)	卓球をした場合と同じ身体活動量で、運動の実施時間を半分にできる別の運動を選び、その理由を説明する			○		○		29.4	3.4	28.7	4.4	0.7	-1.0
2(1)	予想が成り立たない連続する3つの奇数の例をあげ、その和を求める	○				○		53.6	6.5	52.4	8.4	1.2	-1.9
2(2)	連続する3つの奇数の和が3の倍数になることを説明する	○				○		23.1	29.6	24.3	29.1	-1.2	0.5
2(3)	連続する4つの奇数の和について成り立つ事柄を表現する	○				○		59.5	18.0	57.5	19.9	2.0	-1.9
3(1)	グラフから、2店のTシャツのプリント料金が同じになる座標を選ぶ			○	○			54.1	1.2	52.6	2.0	1.5	-0.8
3(2)	Tシャツ35枚のプリント料金が最も安い店をグラフから判断する方法を説明する			○		○		29.8	26.9	29.1	28.9	0.7	-2.0
4(1)	証明をよみ、2つの三角形の対応する2辺の間の角が等しいことを表している部分を書く		○			○		48.3	12.9	47.1	15.7	1.2	-2.8
4(2)	2つの線分の長さが等しいことを、三角形の合同を利用して証明する		○			○		47.5	19.6	46.3	23.3	1.2	-3.7
5(1)	パイプの構造を図形としてとらえ、パイプの端点をつないでできる図形の名前を書く		○			○		59.0	13.4	57.8	16.7	1.2	-3.3
5(2)	平行四辺形になることを証明するための根拠となる事柄を書く		○			○		9.8	43.9	9.4	45.1	0.4	-1.2
6(1)	L字型の厚紙を引き出すとき、その長さや面積の関係を表すグラフの特徴を説明する			○		○		39.4	47.2	38.4	48.3	1.0	-1.1
6(2)	封筒から引き出した部分の長さや面積の関係を表したグラフから、厚紙の形として、正しいものを選ぶ			○	○			52.0	3.8	51.2	4.3	0.8	-0.5

### (5) 指導改善のポイント

- 事柄が成り立つ理由を説明するために、結論に必要な根拠が何かを明らかにして説明したりする活動や、事柄が成り立たないことを示すために、反例をあげる活動を積極的に取り入れる。
- 日常的な事象を形や大きさ、位置関係に着目して観察することで図形やその要素の関係を見だし、その事象の特徴を図形の性質として把握する活動や、把握した事柄を主部（前提や根拠）と述部（結論）を明確にして、口述したり記述したりする活動を積極的に取り入れて指導する。
- 日常的な事象における数量の関係が積で表された式について、3つの数量のうちの1つを一定とみることで残りの2つの数量の関係が比例や反比例になることをとらえることを通して、積で表された式の数学的な意味の理解を深める活動に重点を置く。また、数量の関係をとらえ、与えられた条件を目的に応じて整理・解釈して、問題解決のために結果を予想したり構想を立てたりする活動を積極的に取り入れる。

### Ⅲ 類似問題の経年比較

#### 1 中学校国語

#### A3 一 スピーチなどにおける話し方の工夫をとらえる。

平成19年度小学校調査での正答率は、51.4%であったが、平成22年度調査では60.8%であった。19年度との比較で、全国平均の3.2ポイント増に対して県平均は9.4ポイント増であることから、表現に注意して話す力は高まってきていると考えられる。ただ、全国平均よりわずかに1.9ポイントしか上回っていないこと、正答率が60%をわずかに上回っただけであることからまだ課題があると捉えている。これは、スピーチの内容に重きが置かれ、話し方を考える学習が十分ではなかったのではないかとということが要因として考えられる。

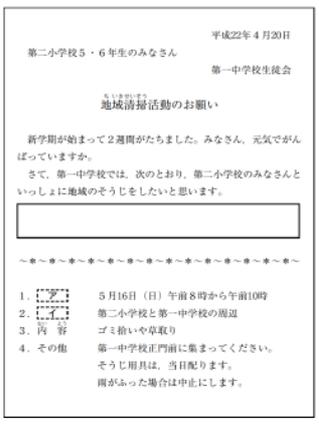
<p><b>H19小A7</b></p> <p>1 聞き手が話の内容に集中できずに話している。聞き手が話の内容をよく伝わるように、最初から最後まで同じ調子で話す。</p> <p>2 聞き手が話の内容をよく伝わるように、最初から最後まで同じ調子で話す。</p> <p>3 聞き手が話の内容をよく伝わるように、最初から最後まで同じ調子で話す。</p> <p>4 聞き手が話の内容をよく伝わるように、最初から最後まで同じ調子で話す。</p> <p>5 聞き手が話の内容をよく伝わるように、最初から最後まで同じ調子で話す。</p> <p>〔正解 ② ④〕</p>	<p><b>H22中A3 一</b></p> <p>1 青山さんは、演説の内容を聞き取りやすくするために、一文を短く話している。</p> <p>2 青山さんは、演説の内容を聞き取りやすくするために、一文を短く話している。</p> <p>3 青山さんは、演説の内容を聞き取りやすくするために、一文を短く話している。</p> <p>4 青山さんは、演説の内容を聞き取りやすくするために、一文を短く話している。</p> <p>〔正解 ③〕</p>
(全国) 55.7% (県) 51.4%	(全国) 58.9% (県) 60.8%

#### A9 二 小学生に向けた案内文となるように適切な文を書く。

平成19年度小学校調査では、スーパーマーケットの広告における「みなさん、おいで」を適切な勧誘の表現に書き直す問題の正答率が79.4%であった。

今回は、地域清掃活動の案内文という比較的公的な文章を題材にして書き直す問題であったが正答率は60.6%であった。案内文のような公的な文章にふさわしい表現をすることが課題である。

これは、行事の案内などの実用的な文章をふさわしい表現で作成する学習が十分ではないことが要因として考えられる。

<p><b>H19小B4 二</b></p> 	<p><b>H22中A9 二</b></p> 
(全国) 77.0% (県) 79.4%	(全国) 60.9% (県) 60.6%

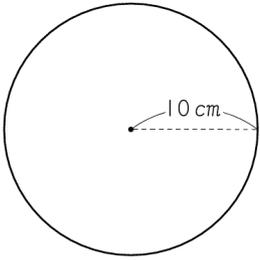
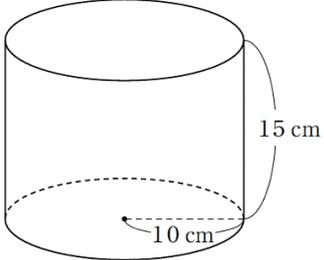
#### A10 一 1, 二 3 文脈に即して漢字を正しく書く。文脈に即して漢字を正しく読む。

平成19年度と今回を比較すると、「漢字を書く・読む」のいずれも正答率が上がっており、習熟度が高くなっていることがわかる。ただし、「相談」は小学校3年生で学習する漢字であり、もっと早い段階からさらに習熟度を高める必要がある。

<p><b>H19小A1 二(2), 一(1)</b></p> <p>先生に <u>そうだん</u> する。 リーダーとして勝利に<u>導く</u>。</p>	<p><b>H22中A10 一 1, 二 3</b></p> <p>先生に <u>ソウダン</u> する。 調べたことから結論に<u>導く</u>。</p>
<p>そうだん (全国) 58.0% (県) 53.4%</p> <p>導く (全国) 95.2% (県) 95.0%</p>	<p>ソウダン (全国) 76.0% (県) 75.4%</p> <p>導く (全国) 96.3% (県) 97.3%</p>

## 2 中学校数学

A5 (4) 円柱の体積を求める。

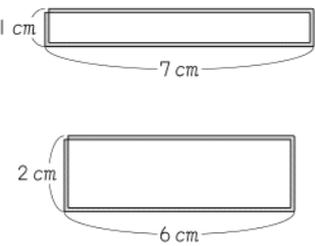
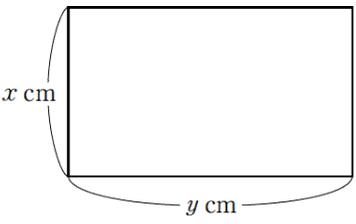
<p>H 1 9 小 A 5 (3)</p> <p>円の面積</p> 	<p>H 2 2 中 A 5 (4)</p> <p>円柱の体積</p> 
<p>(全国) 73.2% (県) 70.4%</p>	<p>(全国) 39.9% (県) 36.9%</p>

平成19年度小学校調査(円の面積)では、円の面積を[直径×円周率]や[半径×円周率]で求めている解答(解答類型7, 8)が10.3%あった。

平成22年度中学校調査では、同様の誤りなどをした生徒(解答類型8)が13.7%いることから、円柱の体積でも、底面の円の面積の求め方を円周の長さの求め方などと混同している生徒が、小学6年時と同程度いるのではないかと考えられる。

これは、公式は暗記していても、その意味の定着が不十分なため、何を求める公式なのかを忘れたり、解決に使うべき公式を混同したりしてしまうことが要因ではないかと思われる。

A11 (3) 周りの長さが一定である長方形の横の長さ(y)を縦の長さ(x)で表す。

<p>H 1 9 小 A 7 (3)</p> <p>縦の長さが1 cm増えた際の横の長さの変化を答える</p> 	<p>H 2 2 中 A 11 (3)</p> <p>横の長さ(y)を縦の長さ(x)で表す</p> 
<p>(全国) 75.3% (県) 74.8%</p>	<p>(全国) 22.9% (県) 21.2%</p>

今回の調査では、平成19年度小学校調査に比べて正答率がかなり低い。平成19年度の問題では、直前の設問で、縦と横の長さの関係を表にまとめさせたことで、数の関係に気付くことができたのに対し、今回は、すぐ式に表す問題となり、解決の方法を自ら考える必要があったことが、正答率が低くなった要因の1つと考えられる。

H 1 9 小 A 7 (2) 表の完成							
たて (cm)	1	2	3	4	5	6	7
横 (cm)	7						
(全国) 75.4% (県) 75.6%							

このことから、与えられた表を完成させることはできても、自ら表を作って考えることのできる生徒は少ないのではないかと推測される。これは、2つの数量の関係について、対応を見やすくするために表に整理するなど、目的をもって調べたり考えたりする学習が、十分には展開されてこなかったのではないかとということが、要因として考えられる。

また、文字式の意味をよみとったり文字式で表したりすることについては、具体的な事象と対応させて考える学習が十分ではなく、まだ習熟には至っていない生徒が多いのではないかと考えられる。

## IV 児童生徒質問紙調査結果

※表の下段は全国との比較

### 1 結果の概要

- 小・中学生ともに、早寝・早起き・朝ご飯や規則正しく生活することなど、基本的な生活習慣に関する質問に対しては、全国値に比べて肯定的な回答が多い。長時間テレビを見ている子どもの割合は年々減少してきてはいるが、全国値より高い。
- 小・中学生ともに、家庭で予習・復習をしている割合は全国値より高く、家庭における学習時間については、1時間以上で見ると、小学生では増加傾向にあるが、2時間以上で見ると、小・中学生ともに全国値を下回っている。

### 2 学習に対する関心・意欲・態度

- 授業の内容がよく分かるかという質問に対し、小学生では国語、算数ともに約8割の児童が分かるかと答えており、全国値と同じか高い割合となっている。一方、中学生では、国語に関しては分かる生徒が7割を超え、全国値より高いが、数学に関しては6割5分程度で、全国値より低い。
- 自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるよう気を付けて書いているかなど、国語の学習への取組を問う質問に対して、小・中学生ともに肯定的に答えている生徒の割合が全国値より高い。
- 算数・数学の問題が分からないとき、あきらめずにいろいろな方法を考える割合は21年度と比べ小学生はわずかに減り、中学生は増加したが、どちらも全国値より高い。言葉や式で訳や求め方を書く問題に最後まで書く努力をしたと答えた割合は、小学生が全国値より低く、中学生は高い。

	質問事項	小学校(%)				中学校(%)			
		H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H19
1	国語の授業の内容はよく分かりますか	82.3 +0.0	80.1 +0.1	77.6 -0.4	78.7 +0.7	71.5 +1.6	70.1 +1.3	69.6 +2.8	67.5 +2.1
2	算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	78.0 +0.8	80.2 +1.0	79.2 +0.8	77.9 +0.8	64.8 -0.9	62.4 -2.5	64.5 -1.0	61.5 -2.1
3	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか。	72.8 +3.6	66.7 +0.5	67.2 +0.1		62.1 +4.4	58.6 +3.5	61.4 +5.9	
4	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	74.9 +1.5	70.6 -0.2	71.7 -0.2		66.7 +3.0	63.3 +2.6	65.6 +4.1	
5	算数・数学の問題の解き方が分からないときはあきらめずにいろいろな方法を考えますか。	77.4 +0.1	77.6 +0.8	76.2 +0.2	75.0 +0.3	68.7 +1.6	64.9 +0.1	64.7 +1.1	63.6 +0.6
6	言葉や式を使ってわけや求め方を書く問題についてどのように解答しましたか（最後まで書く努力をした）	60.5 -1.5	66.4 -1.6	65.9 -1.1		45.6 +0.1	48.4 +0.4	42.2 -0.5	

### 3 基本的な生活習慣，家庭でのコミュニケーション

- 朝食を毎日食べる小・中学生は21年度同様に高い割合となっており、全国値よりも高い。
- 家の人と学校での出来事について話をする割合が小・中学生ともに増加しており、全国値よりも高い。

	質問事項	小学校(%)				中学校(%)			
		H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H19
1	普段(月～金曜日)、何時ごろに寝ますか (小：午後10時前 中：午後11時前)	49.6 +5.8	51.1 +7.8	48.4 +7.0	49.4 +7.3	35.5 +3.1	34.3 +2.5	32.4 +3.0	33.8 +4.0
2	普段(月～金曜日)、何時ごろに起きますか (午前6時30分より前)	39.8 +3.0	39.8 +3.5	38.0 +2.5	37.9 +3.5	30.6 -3.7	29.9 -3.4	29.2 -3.5	29.2 -2.5
3	朝食を毎日食べていますか	97.4 +1.0	96.6 +0.6	96.3 +0.9	96.2 +1.0	94.5 +1.2	94.0 +1.6	93.6 +1.7	93.3 +1.7
4	家の人と学校での出来事について話をしていますか	77.0 +2.8	71.0 +0.1	70.9 +1.7	70.0 +1.6	65.1 +1.4	61.1 +1.3	60.0 +2.1	60.0 +2.2
5	家の手伝いをしていますか	83.8 +3.6	82.0 +3.5	81.0 +3.5	81.1 +2.7	69.7 +4.9	68.3 +5.3	65.9 +5.3	67.9 +4.6
6	今住んでいる地域の行事に参加していますか	74.4 +12.8	73.0 +10.6	71.6 +11.7	72.6 +10.6	39.5 +5.2	40.9 +3.1	39.8 +2.8	39.7 +2.2

#### 4 学習時間等

- 家庭で、自分で計画を立てて、予習・復習をしている小・中学生は、昨年度よりも増加し、全国値よりも高い。
- 家庭で1時間以上学習すると答えた小学生の割合は全国値を上回ったが、2時間以上の学習になると、小・中学生ともに全国値を下回っている。
- テレビやビデオ・DVDを3時間以上見たり、聞いたりする小・中学生の割合は、21年度よりわずかに減少したが、依然として全国値よりも高い。
- テレビゲームで3時間以上遊んでいる割合は、小学生が全国値を上回り、中学生はわずかに下回っている。

	質問事項	小学校(%)				中学校(%)				
		H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H19	
1	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	64.7 +6.4	55.5 +0.8	51.5 -0.5		44.3 +2.5	40.1 +2.2	35.8 +1.6		
2	家で学校の授業の予習をしていますか	48.6 +8.2	42.6 +5.1	39.1 +3.7	36.6 +3.7	43.9 +13.0	42.1 +12.6	41.0 +12.6	39.3 +9.8	
3	家で学校の授業の復習をしていますか	61.2 +11.6	54.9 +8.9	50.8 +7.4	45.8 +5.7	54.4 +10.9	49.7 +9.2	48.4 +8.8	45.8 +6.6	
4	普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか	30分以上	88.7 +3.9	86.1 +2.5	83.5 +1.1	83.5 -0.4	83.1 +0.0	81.7 -0.2	81.4 -0.7	78.6 -2.6
		1時間以上	61.5 +3.3	56.9 -0.3	52.9 -3.2	53.8 -4.1	63.7 -2.5	62.2 -3.1	63.1 -2.3	59.9 -5.1
		2時間以上	20.8 -4.9	19.7 -6.0	18.8 -6.7	18.3 -7.2	28.5 -7.2	29.1 -6.6	29.8 -5.9	27.4 -8.0
		3時間以上	6.8 -4.6	17.9 -4.9	16.3 -6.4	15.4 -7.6	6.3 -3.9	13.5 -1.9	13.6 -1.5	11.8 -3.1
5	普段1日にどれくらいの時間テレビやビデオ・DVDを見ますか(3時間以上)	47.2 +3.9	51.1 +5.4	51.7 +5.6	38.0 +3.7	38.1 +1.6	40.4 +2.4	43.0 +3.4	35.9 +2.8	
6	普段1日当たりどれくらいの時間テレビゲームをしますか(3時間以上)	12.6 +1.3	13.0 +1.4	14.0 +2.1	9.8 +0.9	10.2 -0.6	10.5 +0.1	10.4 -0.1	10.5 -0.2	

#### 5 自尊意識・規範意識

- 自己肯定感や達成感を感じたことがあると答えた割合は、小・中学生ともに増加傾向にあるが、小学生は全国値を下回り、中学生は全国値を上回っている。
- 将来に夢や目標を持っていると答えた割合は、小・中学生ともわずかであるが増加傾向にあり、ほぼ全国値と同じになっている。
- 規範意識に関する質問に対し肯定的な解答をした小・中学生の割合は、いじめに関する質問等においてわずかに全国値を下回ったものの、増加傾向にあり、いずれもほぼ全国値と同じである。

	質問事項	小学校(%)				中学校(%)			
		H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H19
1	自分には、よいところがあると思う	73.6 -0.8	72.9 -1.7	71.4 -2.0	68.6 -2.9	63.8 +0.7	61.6 +0.4	61.8 +1.0	59.8 -0.7
2	ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがありますか	94.5 +0.4	93.8 +0.0	93.2 -0.3	93.2 +0.1	93.6 +0.9	92.9 +1.0	92.9 +1.0	92.4 +0.4
3	将来の夢や目標を持っていますか	86.5 -0.3	85.6 -0.7	84.0 -0.7	83.6 -0.1	72.6 +0.9	71.3 +0.3	72.0 +1.3	72.2 +1.5
4	学校のきまり(規則)を守っていますか	89.4 +0.2	87.6 -0.9	85.7 -0.6	85.2 -1.0	90.5 +0.4	89.3 +0.7	88.0 +0.6	86.0 +0.3
5	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	94.3 -0.7	95.1 +0.2	95.0 +0.3	94.7 +0.0	90.8 -0.3	90.7 +0.4	89.8 +0.3	87.8 -0.1
6	人の役に立つ人間になりたいと思う	92.5 -0.9	91.8 -0.7	92.0 -0.4	91.4 -0.5	91.5 -0.6	90.4 +0.0	90.6 +0.1	89.4 -0.2

## V 学校質問紙調査結果

※ 表の下段は全国との比較

### 1 結果の概要

- 小・中学校ともに、調査結果を分析し具体的な教育指導の改善に活用したり、対象学年、教科だけではなく学校全体で活用したりしている割合は、全国値よりも高い。指導計画や学力向上への取組を検討するにあたり、調査結果等を参考にしたと回答した学校の割合は、小・中学校ともに100%に達している。
- 学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っている割合は、小・中学校ともに昨年度よりも増加しているが、全国値と比較すると小・中学校ともに低い。

### 2 学力・学習状況調査の活用

- 指導計画や学力向上への取組を検討するにあたり調査結果等を参考にしている割合は、小・中学校とも昨年度より大きく増加し100%に達している。
- 平成21年度全国学力・学習状況調査の結果を分析し、具体的な教育指導の改善に活用したり、対象学年・教科だけではなく学校全体で活用したりしている割合は、小学校では100%に達し、中学校でも全国値よりも高い。

	質 問 事 項	小学校 (%)				中学校 (%)			
		H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H19
1	指導計画や学力向上への取組を検討するにあたり、調査結果等を参考にしたか	100.0 + 0.1	86.7 + 2.1	85.8 + 4.0		100.0 + 0.2	90.0 + 9.2	84.5 + 5.6	
2	全国学力・学習状況調査の結果を分析し、具体的な教育指導の改善に活用したか	100.0 + 0.1	97.3 + 4.4	94.8 + 6.7		94.9 + 3.4	94.5 + 5.8	95.5 + 12.6	
3	全国学力・学習状況調査の自校の結果を学校全体で活用したか	100.0 + 0.1	89.9 + 6.4	90.8 + 13.4		89.1 + 7.6	89.1 + 10.4	89.1 + 17.7	

### 3 指導方法・学習規律

- 国語の指導として、書く習慣や様々な文章を読む習慣を付ける授業を行った割合が、小・中学校ともに全国値より高く、小学校では書く習慣を付ける授業を行った割合が増加している。
- 算数・数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った割合は、小・中学校ともに全国値より低く、小学校算数では前年度よりも4.3ポイント低くなっている。
- 児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進める割合が、小・中学校ともに全国値より高く、中学校では100%に達している。
- 児童生徒に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導で小学校が全国値を上回った。

	質 問 事 項	小学校 (%)				中学校 (%)			
		H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H19
1	国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行ったか	91.6 + 2.2	88.3 - 0.8	90.1 + 2.7	82.2 - 1.2	94.2 + 3.1	95.0 + 4.1	89.5 - 0.3	85.8 - 1.9
2	国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行ったか	85.4 + 2.4	85.5 + 2.2	87.4 + 4.5	82.6 + 2.3	84.9 + 0.2	85.9 + 3.2	81.4 - 1.7	84.4 + 2.3
3	算数・数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行ったか	61.7 - 0.9	66.0 + 4.1	63.5 + 2.7	62.4 + 2.3	50.1 - 1.5	52.3 + 2.4	53.7 + 3.9	46.2 - 2.3
4	児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしているか	95.8 + 1.4	94.6 - 0.2	97.5 + 3.3		95.9 + 5.7	92.3 + 2.7	91.3 + 2.5	
5	児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めているか	99.3 + 2.1	96.4 - 1.0	97.1 + 0.2		100.0 + 7.7	95.9 + 3.4	95.5 + 4.9	
6	児童生徒に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしているか	72.3 + 1.3	68.1 - 1.4	62.1 - 4.1		94.1 - 2.1	96.8 + 0.9	95.9 + 0.0	

### 4 個に応じた指導

- 算数・数学の指導において習熟の程度に応じて少人数による指導を行っている割合が昨年度と比較すると中学校で増加している。全国値と比較すると中学校で高く、小学校では低い。

	質 問 事 項	小学校 (%)				中学校 (%)			
		H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H19
1	算数・数学の指導において、習熟の遅いグループに対して少人数による指導をしたか	36.0 - 3.4	37.4 - 2.3	33.6 - 6.9		42.4 + 8.7	37.3 + 3.4	42.7 + 6.0	
2	算数・数学の指導において、習熟の早いグループに対して発展的な内容について少人数による指導をしたか	29.0 - 2.5	26.9 - 5.3	27.5 - 6.2		38.0 + 8.7	32.7 + 3.1	39.6 + 7.1	

### 5 学習環境づくりに向けた取組

- 小学校では放課後を利用した補足的な学習サポートの実施割合が昨年度より増加しており、全国値より高い。
- 小・中学校ともに、長期休業期間を利用した補足的なサポートの実施割合が昨年度より増加しているが、全国値より低い。
- 小・中学校ともに、学校図書館を活用した授業を計画的に行っている割合が昨年度より増加しているが、全国値より低い。

	質 問 事 項	小学校 (%)				中学校 (%)			
		H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H19
1	放課後を利用した補足的な学習サポートを実施したか	78.5 + 16.5	76.9 + 16.0	58.6 + 16.7	61.0 + 20.1	84.0 - 1.5	86.1 + 3.0	63.6 + 6.4	61.8 + 6.4
2	長期休業期間を利用した補足的な学習サポートを実施したか	53.5 - 5.1	46.6 - 10.4	43.0 - 7.0	41.2 - 6.6	73.7 - 6.7	68.7 - 11.6	70.0 - 7.0	68.9 - 6.1
3	「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けているか	99.3 + 1.3	98.7 + 0.8	95.0 + 1.8	93.2 + 1.2	94.1 + 2.1	93.2 + 1.8	89.5 + 3.1	88.9 + 4.3
4	学校図書館を活用した授業を計画的に行っているか	77.8 - 1.0	72.6 - 5.2	63.5 - 3.8	56.4 - 3.5	41.6 - 4.8	41.3 - 6.3	28.6 - 11.1	36.0 - 2.3

## 6 家庭学習・家庭との連携

- 国語、算数・数学の指導として、保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すよう働きかけを行っている割合が昨年度より中学校で増加している。小・中学校ともに全国値より高い。
- 国語、算数・数学の指導として、家庭学習（宿題）の課題を与えている割合は、小・中学校ともに全国値より高い。
- 国語、算数・数学の指導として、児童生徒に与えた家庭学習の課題について、評価・指導を行っている割合は、小学校で全国値より高く、国語では100%に達している。中学校では全国値より低い。

	質 問 事 項	小学校 (%)				中学校 (%)			
		H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H19
1	国語の指導として、保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すよう働きかけを行っているか	96.6 + 2.4	97.3 + 4.3	97.3 + 6.7		78.0 + 7.4	75.9 + 6.1	67.3 + 0.7	
2	算数・数学の指導として、保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すよう働きかけを行っているか	95.9 + 2.2	97.1 + 4.7	96.8 + 6.4		78.9 + 7.5	73.6 + 3.5	71.4 + 4.5	
3	国語の指導として、家庭学習（宿題）の課題を与えているか	99.3 + 0.1	99.3 + 0.3	99.6 + 0.9	98.4 + 1.3	96.5 + 7.7	89.1 + 2.1	85.5 - 1.0	78.6 - 5.4
4	算数・数学の指導として、家庭学習（宿題）の課題を与えているか	99.3 + 0.1	99.1 + 0.1	99.6 + 0.8	98.7 + 1.2	94.9 + 3.0	92.3 + 1.8	94.1 + 3.7	87.6 - 1.0
5	国語の指導として、児童生徒に与えた家庭学習の課題について、評価・指導を行っているか	100.0 + 3.8	96.4 + 0.8	98.0 + 0.7		90.7 - 4.1	94.5 + 0.9	94.5 + 0.2	
6	算数・数学の指導として、児童生徒に与えた家庭学習の課題について、評価・指導を行っているか	99.3 + 3.3	96.4 + 1.2	98.4 + 1.0		93.2 - 0.9	93.6 + 0.7	95.9 + 1.7	

## 7 教員研修

- 模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っている割合が小・中学校ともに昨年度と比較するとやや増加傾向にある。全国値と比較すると中学校で高く、小学校は低い。
- 講師を招聘するなどの校内研修を行っている割合は、昨年度よりも増加しているが、小・中学校ともに全国値と比較すると低く、かい離が大きい。
- 小・中学校ともに授業研究を伴う校内研修を行っている割合が昨年度と比較すると増加傾向にあり、全国値と比較すると小・中学校ともに高い。

	質 問 事 項	小学校 (%)				中学校 (%)			
		H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H19
1	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っているか	92.3 - 2.1	91.2 - 2.5	90.7 - 2.0	88.5 - 2.8	91.4 + 8.2	88.7 + 6.2	88.2 + 7.0	84.5 + 6.0
2	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っているか	78.4 - 13.8	73.7 - 18.2	75.0 - 17.1	70.1 - 20.9	71.1 - 11.3	66.4 - 16.2	59.0 - 23.9	63.6 - 19.5
3	授業研究を伴う校内研修を前年度、何回実施したか（9回以上）	56.1 + 9.2	50.0 + 6.4	50.5 + 4.5	44.5 + 0.0	33.0 + 4.8	30.5 + 4.4	24.0 - 3.0	22.7 - 2.9

## 8 地域の人材・施設の活用

- 地域の人材を外部講師として招聘した授業を行っている割合が、昨年度と比較すると小学校で増加に転じ、中学校では減少した。全国値と比較すると中学校が低い。
- 博物館や科学館、図書館を利用した授業を行っている割合は、小学校では昨年度より増加したが全国値と比較すると低い。中学校ではやや減少したが、全国値と比較すると高い。
- 職場見学や職場体験活動を行っている割合が中学校では100%に達し、全国値と比較すると小学校では低く、かい離が大きい。

	質 問 事 項	小学校 (%)				中学校 (%)			
		H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H19
1	地域の人材を外部講師として招聘した授業を行ったか	82.0 + 3.4	70.0 - 4.2	75.7 + 0.9	79.3 + 0.9	44.2 - 6.8	56.8 + 0.2	54.5 - 3.4	58.2 - 1.4
2	博物館や科学館、図書館を利用した授業を行ったか	34.6 - 1.6	27.3 - 6.8	33.1 - 3.4	31.9 - 6.5	20.2 + 6.2	23.7 + 7.0	25.9 + 7.7	30.7 + 10.0
3	職場見学や職場体験活動を行っているか	22.9 - 14.8	22.5 - 13.7	25.9 - 8.5	22.5 - 10.1	100.0 + 2.2	99.1 + 2.0	97.3 - 0.5	99.1 + 3.1

## 9 開かれた学校

- 地域の人々が、自由に授業参観などができる学校公開日を設けている割合が、昨年度より小・中学校で増加しているが、全国値と比較すると、小・中学校ともに低く、かい離が大きい。

	質 問 事 項	小学校 (%)				中学校 (%)			
		H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H19
1	地域の人々が自由に授業参観などができる学校公開日を設けているか	65.2 - 18.6	63.3 - 18.6	64.0 - 17.2	59.3 - 20.7	60.2 - 20.8	57.3 - 19.9	50.9 - 26.0	50.2 - 24.4